

(仮称)凸凹山児童公園・若宮自然広場周辺実施区域 公園機能の再編案の検討

調布市 環境部 緑と公園課

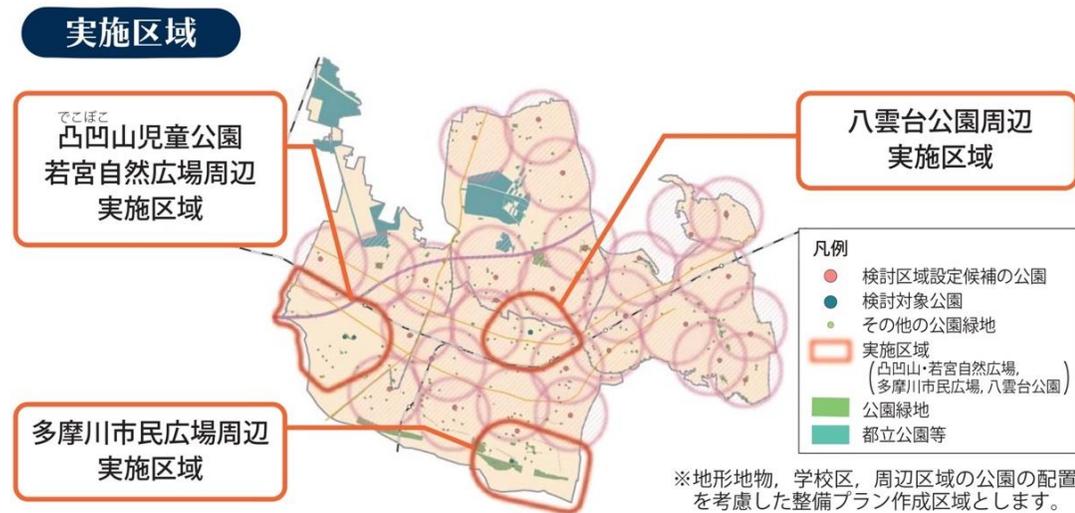
令和3年12月11日(土)10:00～



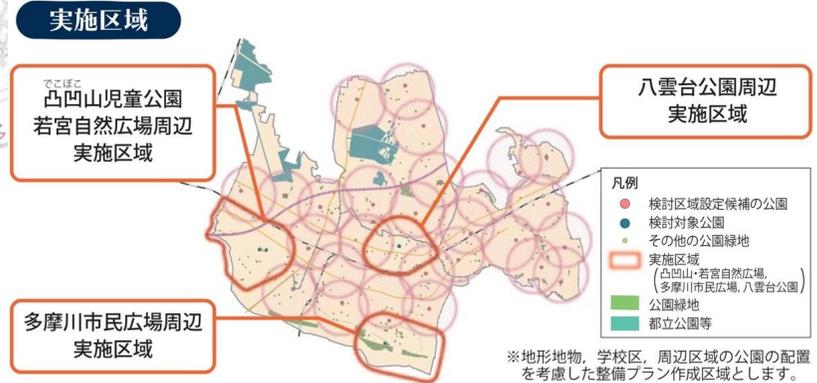
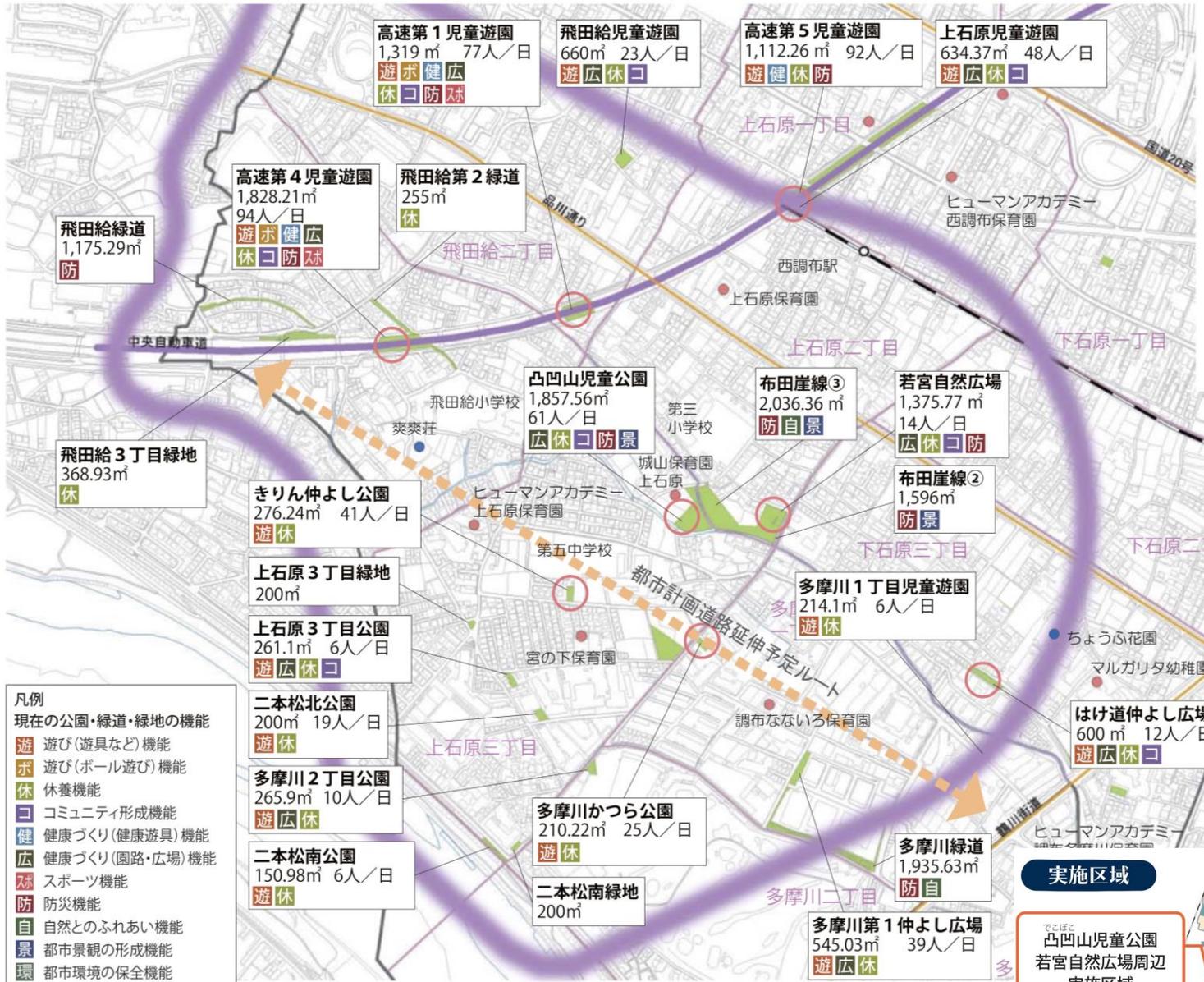
現在、調布市では公園・緑地機能の再編整備の検討を進めています。

「公園・緑地機能再編整備」とは…

市内にある公園や緑地には「小規模で、機能が画一的」なものも多くみられます。「公園が小さくて遊具がひとつしかない」「同じような機能ばかり」など、利用者の多様なニーズに対応できていない公園や緑地の機能再編をおこない、小さくてもそれぞれに特色を持たせていくことで、地域としては色々な使い方のできる公園や緑地が整った状態にしていくことを目指します。

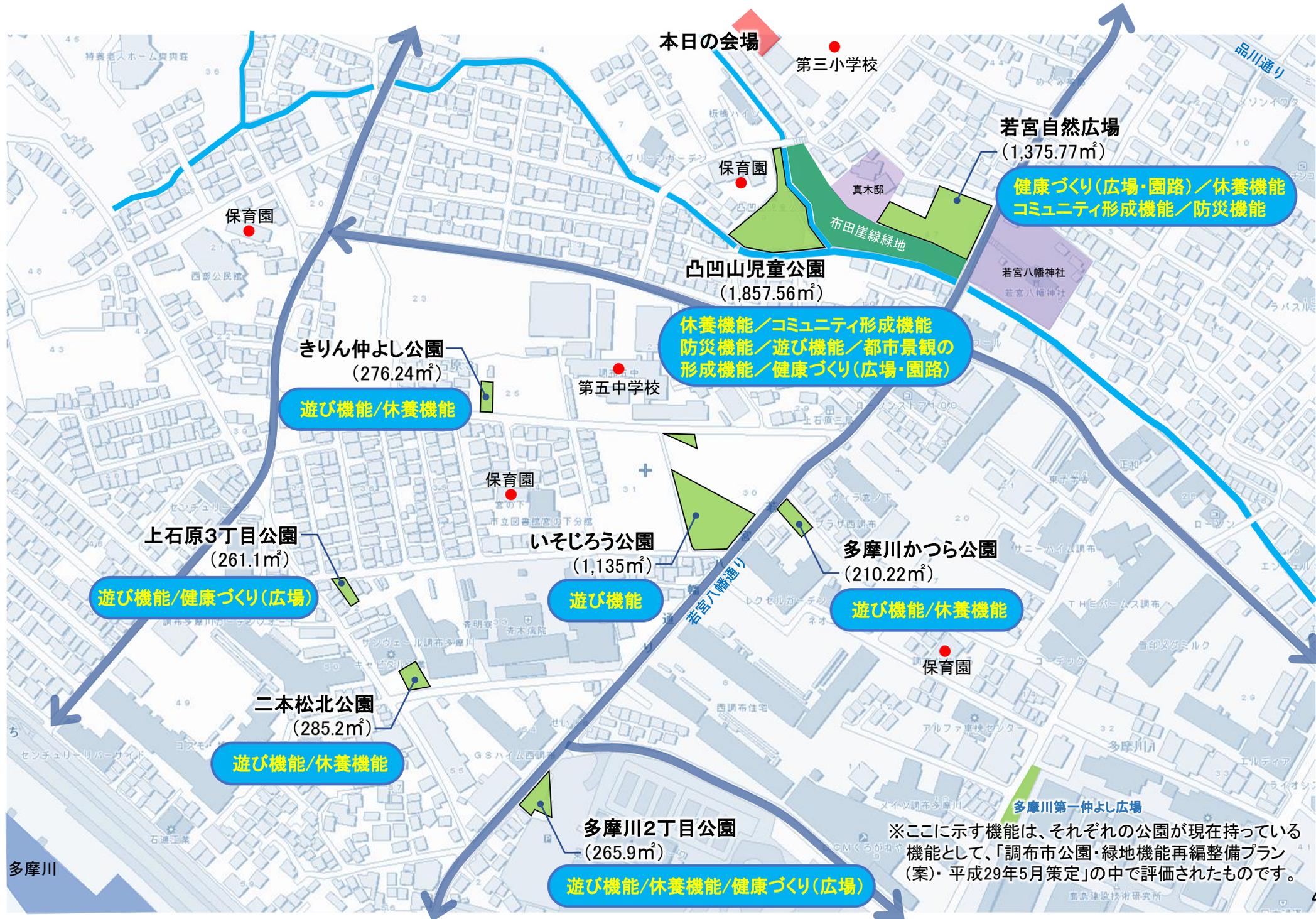


「凸凹山児童公園・若宮自然広場周辺実施区域」



※地形地物、学校区、周辺区域の公園の配置を考慮した整備プラン作成区域とします。

今回の対象区域『凸凹山児童公園～若宮自然広場周辺実施区域』にある公園です。

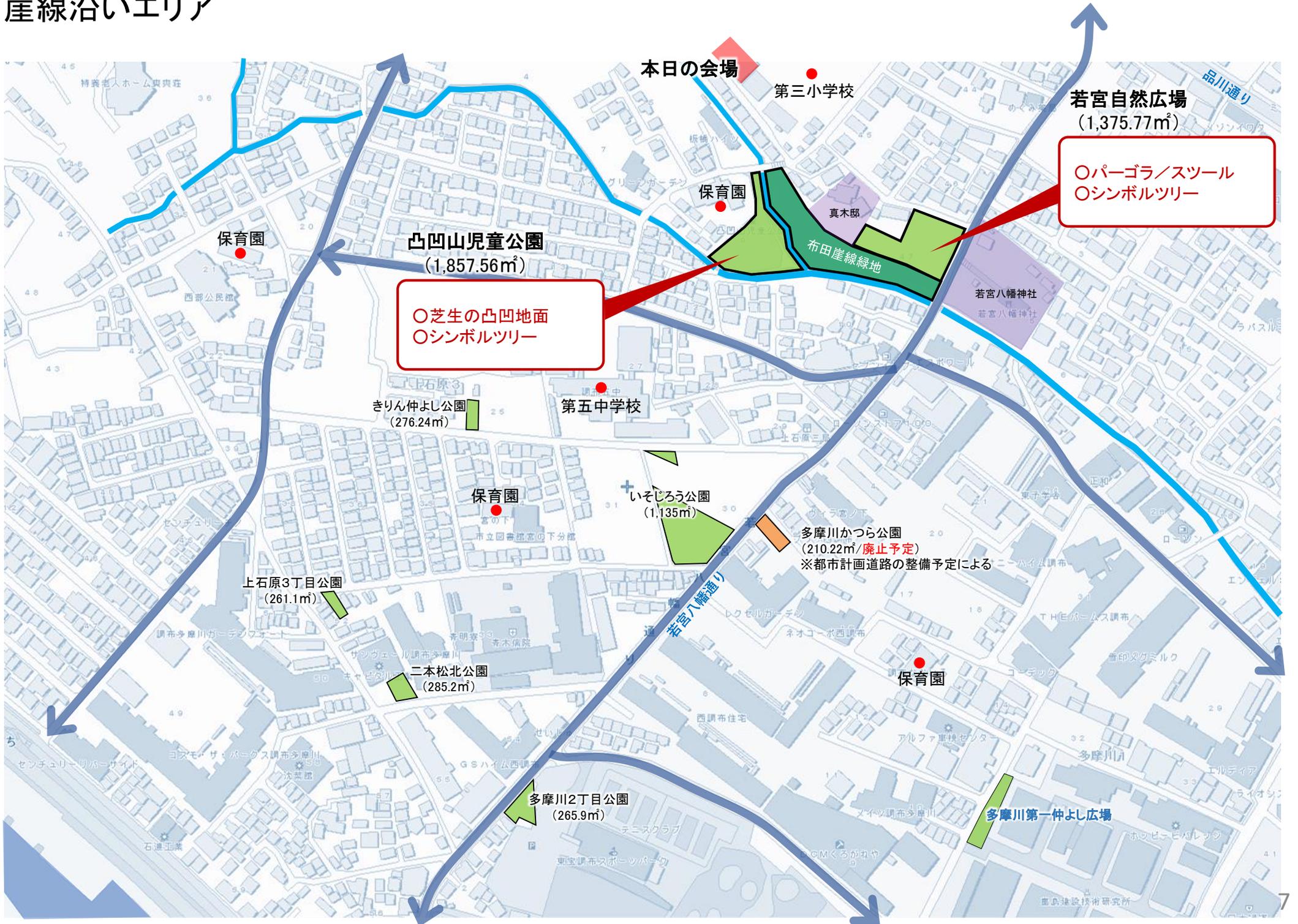


それぞれのエリア特性や規模を活かした公園を目指します。



I .崖線沿いエリアにある公園の現況

崖線沿いエリア



●凸凹山児童公園の現況分析



【大きさ: 1,857.56㎡】

現状機能

休養機能/コミュニティ形成/防災機能
都市景観の保全機能/健康づくり(広場・園路)

【機能面の特徴】

- まとまった広さの芝生の地面と小高い丘が特徴
- 休憩施設はあるが遊具施設は特にない
- 舗装された園路がなく、管理用車両が入りにくく、ベビーカーや車椅子などでの移動も困難

【環境面の特徴】

- 布田崖線の緑地や起伏に富んだ芝生の地面、巨大なシンボルツリー等があり、自然を感じられる「おおらかな空間」
- 周囲は戸建てが中心で遮る要素がなく、空を広く感じられる「開放的な空間」
- 城山保育園が隣接しており、子どもたちが利用しやすい

●若宮自然広場の現況分析



【大きさ: 1,375.77㎡】

現状機能

休養機能/コミュニティ形成
防災機能/健康づくり(広場・園路)

【機能面の特徴】

- まとまった広さの草の地面とシンボルの大ケヤキが主な機能
- 休憩施設や水飲み機能などがある
- 若宮八幡通り側の旧邸宅(真木邸)のエントランス遺構と繋がる
～歴史的資産としての価値～

【環境面の特徴】

- 布田崖線の樹林地に囲まれていることで、自然の雰囲気の強い、静穏な環境が保たれている
- 柔らかな草の地面が貴重な空間

●布田崖線緑地の現状

布田崖線(ふだがいせん)

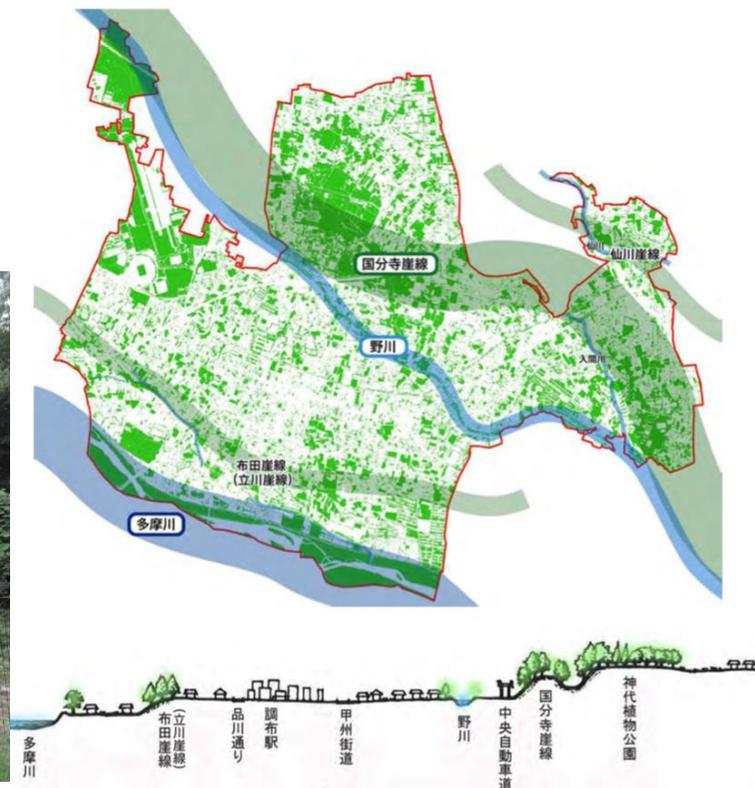
- 崖線は長い年月をかけた多摩川の浸食作用によって作り出された自然の地形構造です。
- 布田崖線は、立川崖線(府中崖線)の延長として、市内の飛田給、品川通り南側から狛江市境まで続いている崖線区域の呼称です。
- 崖線の斜面緑地は、その急峻な地形状況ゆえに開発されずに今に至っており、自然の樹林(二次林など)が残る貴重な自然環境になっています。



●斜面には樹高20m近い樹木が生育している



●樹林は『ムクノキ・ケヤキ群落』と『スタジイ群落』で構成されている



●草木が多く、見通しが効かない



●府中用水はコンクリート3面貼りで、高いフェンスで囲まれている

●平成28年4月 調布市崖線樹林地の保全管理計画(布田崖線)における位置付け

基本方針の考え方

保全管理計画を策定するにあたり、植生の現状、地形、土壌浸食、湧水等の状況、周辺の土地利用の状況および市民の皆様との意見交換の結果を踏まえ、今後の基本方針について検討しています。

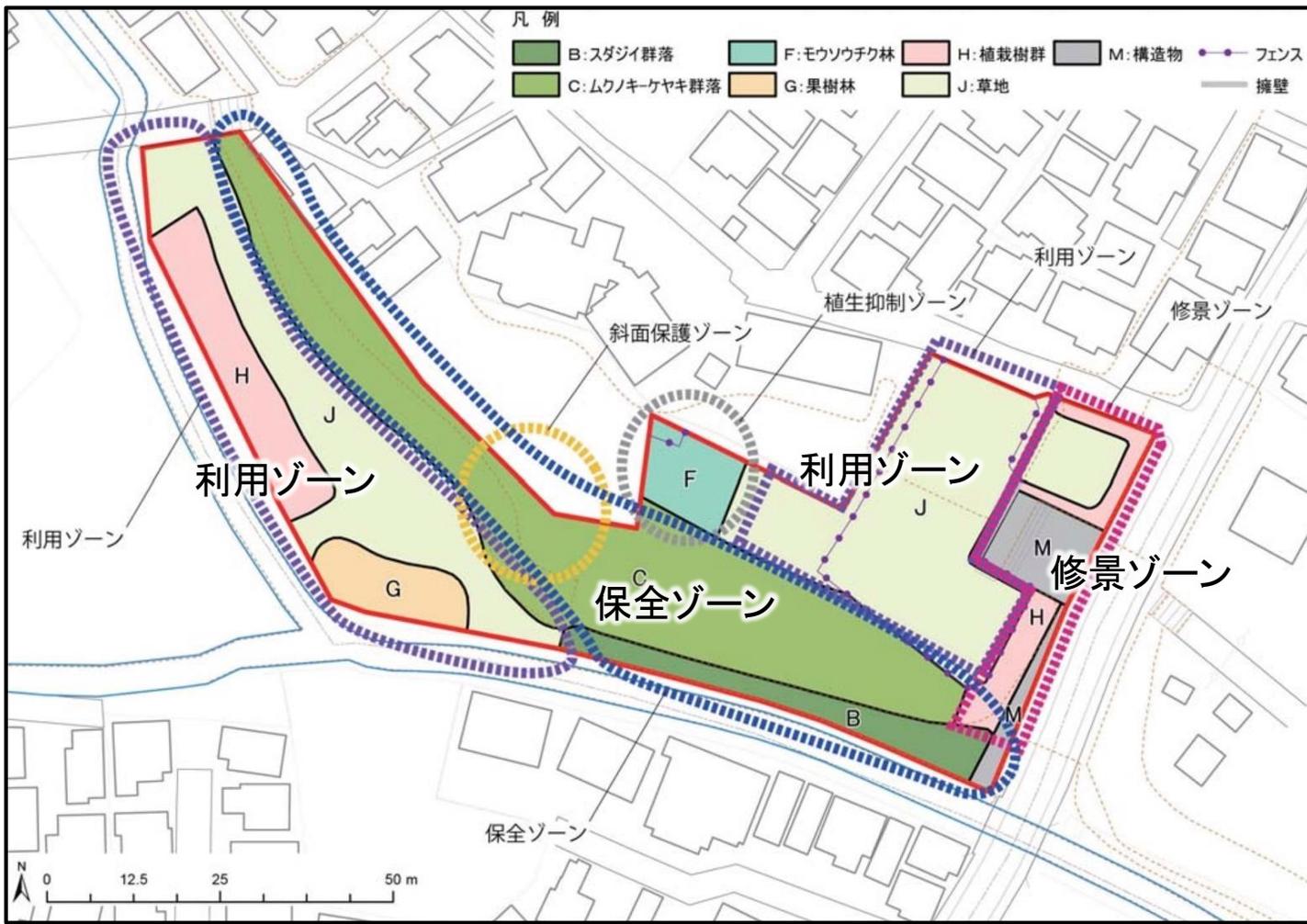
今後の基本方針としましては、崖線樹林地を利用する皆様の安全確保および環境学習等の活用についての「利用方針」と現況の緑資源の維持と育成および保護・保全に関する「保全の方針」の2つについて検討しています。

「保全の方針」は、樹林の若返りを図るための更新や林内光環境の改善、貴重植物などの保護や隣接住民の皆様への住環境に配慮した維持管理について検討しています。

「利用の方針」は、急斜面地の状況に応じた限定利用や緑資源を活用した環境学習などの利活用について検討しています。

基本方針：樹林の保護と更新・林内環境改善

- 保全の方針
 - ・市民と行政との協働により、多様な植物や小動物とふれ合える環境を目指す。
- 利用の方針
 - ・斜面樹林の樹木や様々な植物を活用した、自然学習、環境学習などの利用を目指す。



布田崖線（上石原地区）の基本方針

周辺の緑地と一体となった、西部地域の緑地の核と位置づけ、自然性の高い斜面緑地の保全と、自然資源を活用した林内活動との両立を図っていきます。



将来イメージ図（上石原地区）

＜樹林の目標像＞
多様な草花が咲く、明るく開放的な草地、ムクノキ、エノキ、シラカシ、スタジイなどが混在し、環境学習のフィールドとして利活用ができる樹林。

- 保全ゾーン・・・斜面樹林を保全するゾーン
- 利用ゾーン・・・斜面下の平坦地を中心に、利用に供するゾーン
- 斜面保護ゾーン・・・表土の流出が起きている斜面を保護するゾーン
- 植生抑制ゾーン・・・モウソウチク林の拡大を抑制するゾーン
- 修景ゾーン・・・道路に面していて、景観に配慮した管理を行うゾーン

●平成29年5月 機能再編整備プラン(案)時点の方針

機能再編の方針

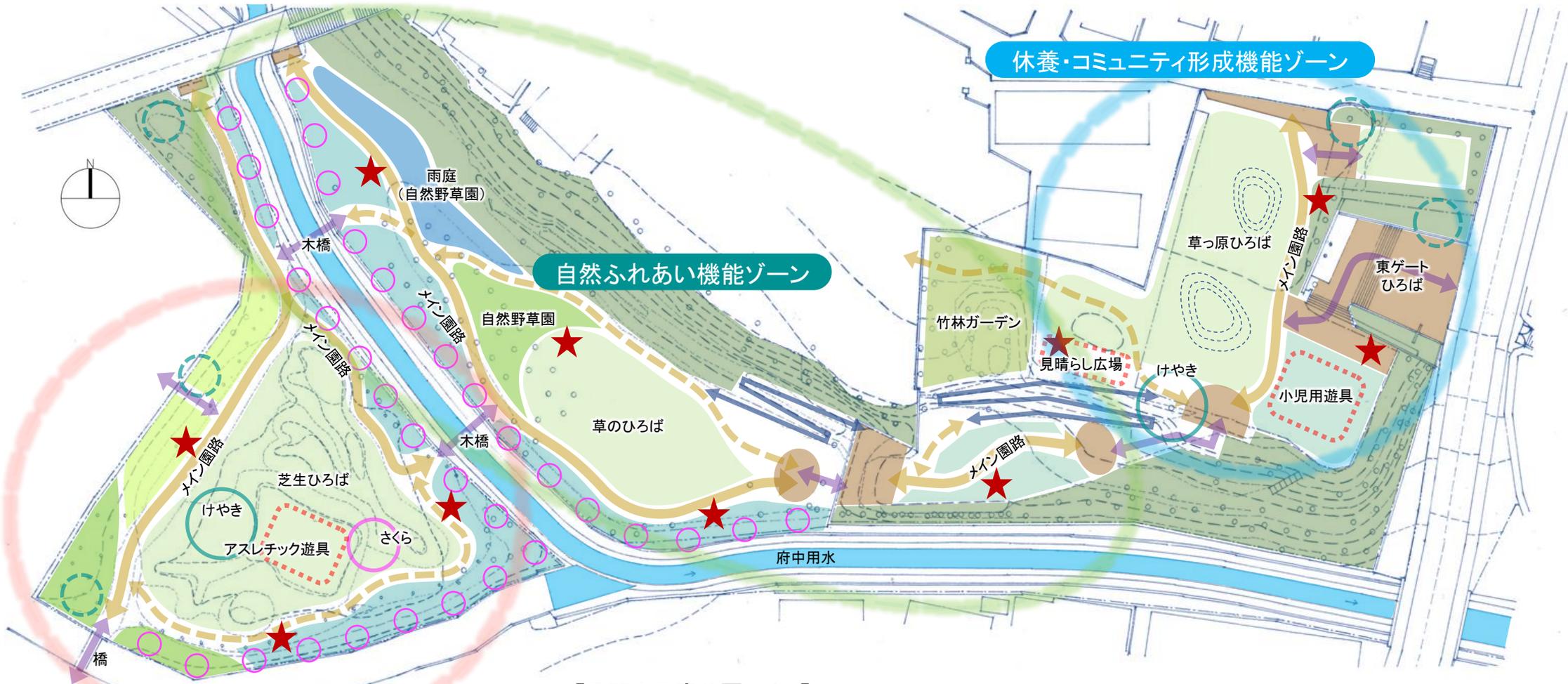
●凸凹山児童公園・若宮自然広場は調布市の自然と歴史にふれあう場とし、日常的な利用は周囲の公園・緑地で分担します。また、再編整備にあたっては、隣接地である真木家住宅及び庭園を含めた、一体的な整備を行います。

若宮自然広場は真木邸・若宮八幡神社の利用に配慮し休養機能を確保
布田崖線部分は樹木を保全しつつ現況の歩道をいかし散策路を整備

改修イメージ（凸凹山児童公園・若宮自然広場・布田崖線 平面図）



※これはイメージであり、実際の改修時には皆様のご意見をいただき設計を進めます。



遊び・健康づくり機能ゾーン

【凸凹山児童公園エリア】

- ・かつてあった場所にアスレチック遊具を再配置。…「遊び機能」「健康づくり機能」
- ・園路を整備してだれもが利用しやすい環境を整える。…「バリアフリー化」

↔ メイン園路

↔ サブ園路

★ 休憩機能

○ ゲートツリー

○ 水辺の並木

【布田崖線のハケの広場】

- ・崖線緑地の自然環境を体感したり、観察できるフィールド。…「自然ふれあい機能」
- ・崖線のハケの空間と若宮自然公園とを繋ぐ園路を確保する。…「散策・回遊機能」

【若宮自然広場】

- ・草の地面を生かした、子ども連れ親子や高齢者が寛げるひろば。…「休養機能」「コミュニティ形成機能」
- ・若宮八幡神社側の門構え(遺構)を公園のメインゲートとして生かす。…「公園の構えづくり」



休養・コミュニティ形成機能ゾーン

【凸凹山児童公園エリア】

- ・芝生のマウンドとシンボルツリーだけの開放的なひろば。…「休養機能」「コミュニティ形成機能」
- ・園路を整備してだれもが利用しやすい環境を整える。…「バリアフリー化」

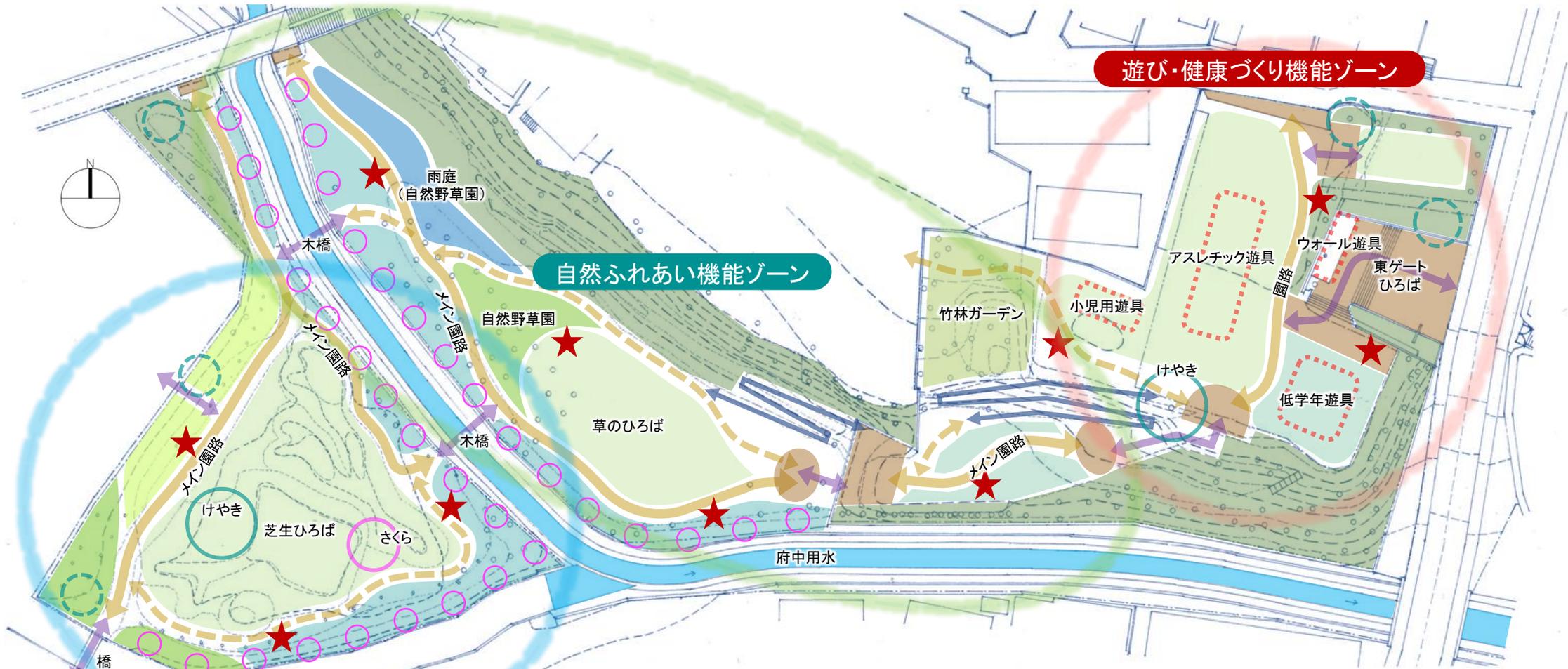
【布田崖線のハケの広場】

- ・崖線緑地の自然な雰囲気の中で子どもが元気に遊ぶ活動的なゾーン。…「遊び機能」「健康づくり機能」
- ・崖線のハケの空間と若宮自然公園とを繋ぐ園路を確保。…「散策・回遊機能」

【若宮自然広場】

- ・草の地面を生かした、子ども連れ親子や高齢者が安心して寛げるひろば。…「休養機能」
- ・若宮八幡神社側の門構え(遺構)を公園のメインゲートとして生かす。…「公園の構えづくり」

- ↔ メイン園路
- ↔ サブ園路
- ★ 休憩機能
- ゲートツリー
- 水辺の並木



遊び・健康づくり機能ゾーン

自然ふれあい機能ゾーン

休養・コミュニティ形成機能ゾーン

【凸凹山児童公園エリア】

- ・芝生のマウンドとシンボルツリーによる開放的なひろば。…「休養機能」「コミュニティ形成機能」
- ・園路を整備してだれもが利用しやすい環境を整える。…「バリアフリー化」

【布田崖線のハケの広場】

- ・崖線緑地の自然環境を体感したり、観察できるフィールド。…「自然ふれあい機能」
- ・崖線のハケの空間と若宮自然公園とを繋ぐ園路を確保する。…「散策・回遊機能」

【若宮自然広場】

- ・多様な大きさに区分されている敷地特性を活かした「子どもの遊び場ゾーン」を形成。…「遊び機能」「健康づくり機能」
- ・若宮八幡神社側の門構え(遺構)を公園のメインゲートとして生かす。…「公園の構えづくり」

↔ メイン園路

↔ サブ園路

★ 休憩機能

○ ゲートツリー

○ 水辺の並木

■3つの空間利用パターンの比較

	A 案	B 案	C 案
プラン			
空間構成	<ul style="list-style-type: none"> ・若宮ひろばエリア:「休養・コミュニティ形成機能」 ・崖線緑地エリア:「自然ふれあい機能」 ・凸凹山エリア:「遊び・健康づくり機能」 	<ul style="list-style-type: none"> ・若宮ひろばエリア:「休養機能」 ・崖線緑地エリア:「遊び・健康づくり機能」 ・凸凹山エリア:「休養・コミュニティ形成機能」 	<ul style="list-style-type: none"> ・若宮ひろばエリア:「遊び・健康づくり機能」 ・崖線緑地エリア:「自然ふれあい機能」 ・凸凹山エリア:「休養・コミュニティ形成機能」
平成29年5月案との整合性	当初案に沿った機能配置になっている	異なる機能配置構造 (若宮自然広場エリアのみ整合)	異なる機能配置構造 (崖線緑地エリアのみ整合)
崖線管理計画との整合性	管理計画に沿った空間利用	管理計画にはない「遊び利用」	管理計画に沿った空間利用
評価点	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年5月プラン案ならびに崖線管理計画との整合性が高い ●崖線緑地境界を自然度の高い、静かな環境にできる 	<ul style="list-style-type: none"> ●アスレチック遊具であれば崖線緑地の森の環境とは親和性があり、「自然テーマ」の個性的な公園空間を創出できる ●現在の開放感の高い凸凹山の空間を残せる 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の開放感の高い凸凹山の空間を残せる ●崖線利用において管理計画と整合する ●現状として利用動機が低い若宮自然広場に吸引力を持たせることができる
課題点	<ul style="list-style-type: none"> ●遊具を配置できる場所が限定される(造成をしない前提) ●エリア全体としてメインユーザーである子ども(特に年齢の低い子ども)にとっての魅力が低い ●現在の凸凹山の開放感の高い空間がなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ●崖線管理計画とは異なる方向性(自然・環境学習機能などが弱まる可能性) 	<ul style="list-style-type: none"> ●他の2案に比べて近隣住宅との独立性が低いエリアに遊び機能(賑やか機能)を置くことで、利用上の問題になる可能性がある。

■機能のイメージ



Ⅱ.崖線南エリアにある公園の現況

●上石原3丁目公園の現況分析



公園の入り口



入り口脇のベンチと水飲場



公園奥に置かれているすべり台とスプリング遊具



【大きさ:261.1㎡】

現状機能 **遊び機能/健康づくり(広場)**

【施設面の特徴】

- 住宅地の一角にある憩い機能の公園
- 幼児や低年齢向けの遊具(古いタイプ)
- ダスト舗装の地面
- 防火水槽があるため、施設等の配置で
きるエリアが制限される

【環境面の特徴】

- 戸建て住宅に囲まれた静かな環境
- 周囲を充実した緑(常緑樹)が取り囲む

●二本松北公園の現況分析



カラフルな遊具施設



すべり台と砂場

【大きさ:285.2㎡】

現状機能 **遊び機能/休養機能**

【施設面の特徴】

- 遊具の種類は比較的多い
- 他の公園に比べてデザインされた印象
- 砂場があるが手洗・水飲場がない
- 防火水槽があるため、施設等の配置で
きるエリアが制限される

【環境面の特徴】

- 開放感が高く、日当たりも良い
- 周囲に集合住宅や病院、高齢者福祉
施設があり、大人にとっても利便性が
高い

●多摩川2丁目公園の現況分析



公園の入り口



公園内のシンボルツリー



【大きさ:265.9㎡】

現状機能 **遊び機能/健康づくり(広場)/休養機能**

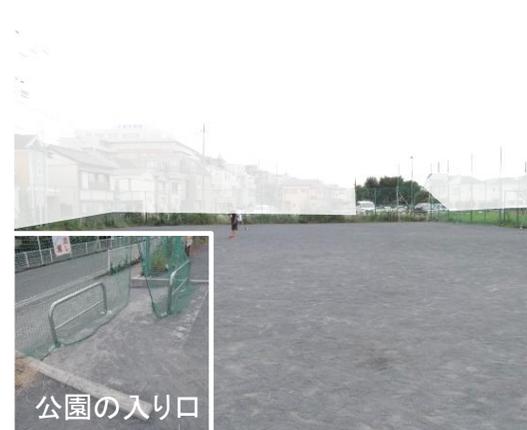
【施設面の特徴】

- 遊具の種類や数がやや少ない
- 防火水槽があるため、施設等の配置できるエリアが制限される

【環境面の特徴】

- 生育のよい緑に囲まれた、自然度の高い空間
- 東側の敷地(駐車場)とレベル差があることで開放性が確保されており、眺望を活かせる可能性を持っている

●いそじろう公園の現況分析



公園の入り口



周囲を取り囲む防球ネット

【大きさ:1,135㎡】

現状機能 **ボール遊び機能**

【機能面の特徴】

- まとまった広さと平坦な地面があり、防球ネット(6m程度)も整っているため、ボール遊びができる貴重な空間
- 小学校高学年生から中学生くらいまでの、比較的高い年齢層が利用している

【環境面の特徴】

- 周囲を道路や農地が取り囲んでいるため、外部からの見通しも良く、開放感の高い公園
- 活動的な利用に特化した公園になっており、園内にはほぼ緑がない

●きりん仲よし公園の現況分析



ブランコ



サークルベンチ



動物象形(しょうけい)遊具



休憩施設



パーゴラと砂場



水飲場・手洗場

【大きさ:276.24㎡】

現状機能

遊び機能/休養機能

【機能面の特徴】

○他の公園にはない動物象形(しょうけい)遊具(※)やブランコなど多様な遊具があり、休憩施設も充実している (※しょうけい遊具にはゾウ、クマ、キリン、サイがあります)

○小学生や親子連れなど、利用者が多い公園

●多摩川かつら公園(廃止予定)現在の様子



若宮八幡通り側出入口



戸建住宅地側(東側)出入口



園内樹木(かつら)



ダストひろばと遊具



すべり台遊具



スプリング遊具

【大きさ:210.22㎡】

現状機能

遊び機能/休養機能

【機能面の特徴】

○開放感のある、明るい印象の公園

○遊具機能は幼児向けのものが中心

■崖線南エリアの機能再編検討【既存公園の機能比較一覧】

(※)他の公園にはない機能

公園名	上石原3丁目公園	二本松北公園	多摩川2丁目公園	いそじろう公園	きりん仲よし公園	多摩川かつら公園
大きさ	261.1㎡	285.2㎡	265.9㎡	1,135㎡	276.24㎡	210.22㎡
再編計画の目標機能	遊び機能/休養機能 健康づくり機能(園路・広場) /コミュニティ形成機能	遊び機能 休養機能	健康づくり機能(園路・広場) /遊び機能/休養機能	遊び機能/休養機能 ボール遊び機能 コミュニティ形成機能 防災機能	遊び機能 休養機能	遊び機能 休養機能
遊具施設	<ul style="list-style-type: none"> ・すべり台(1基) ・スプリング遊具(2基) 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべり台(1基) ・ろくぼく(1基)※ ・砂場(1基) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプリング遊具(2基) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物象形遊具(4基)※ ・ブランコ(2連1基)※ ・砂場(1基) 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべり台(1基) ・スプリング遊具(1基)
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全領域が確保できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部、安全領域が確保できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部、安全領域が確保できていない 		<ul style="list-style-type: none"> 安全領域は確保できている 	<ul style="list-style-type: none"> 安全領域は確保できている
	幼児～低学年	幼児～高学年	幼児～低学年	低学年～高学年	幼児～低学年	幼児～低学年
休憩施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ(2台) ・水飲み・手洗い(1基) ・制札版(園名/注意事項) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ(3台) ・制札版(園名/注意事項) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ(3台) ・制札版(園名/注意事項) 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし ・制札版(園名/注意事項) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ(2基) ・サークルベンチ(1基) ・水飲み・手洗い(1基) ・制札版(園名/注意事項) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ(2基) ・制札版(園名/注意事項)
地面仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・ダスト舗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダスト舗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダスト舗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダスト舗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダスト舗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダスト舗装
公園の評価	<ul style="list-style-type: none"> ●敷地規模が小さい ●緑に囲まれた静かな空間 	<ul style="list-style-type: none"> ●見通しの良い開放性の高い公園 ●病院や高齢者施設に近接した公園(憩い利用機能) 	<ul style="list-style-type: none"> ●見晴らしの良い立地条件 ●生育の良い、充実した緑のある自然度の高い環境 	<ul style="list-style-type: none"> ●この界隈で球技利用ができる貴重な空間 ●将来拡張予定があり、まとまった広さが確保できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●動物象形(しょうけい)遊具は個性的な要素 ●近くの公園にはない機能(ブランコ遊具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●他の公園に類似の遊具機能が整っている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・消防水利水槽(埋設) ※上部利用に制約あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防水利水槽(埋設) ※上部利用に制約あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防水利水槽(埋設) ※上部利用に制約あり 		<ul style="list-style-type: none"> ・防災備蓄倉庫 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止予定(都市計画道路整備予定による)

①各公園の大きさや環境特性に適した機能配置

～機能を詰め込みすぎない、ゆとりのある空間使い～

～小さな公園で穏やかな利用。広い公園は活動的な利用～

②立地特性から予想される利用者特性に配慮した機能配置とする

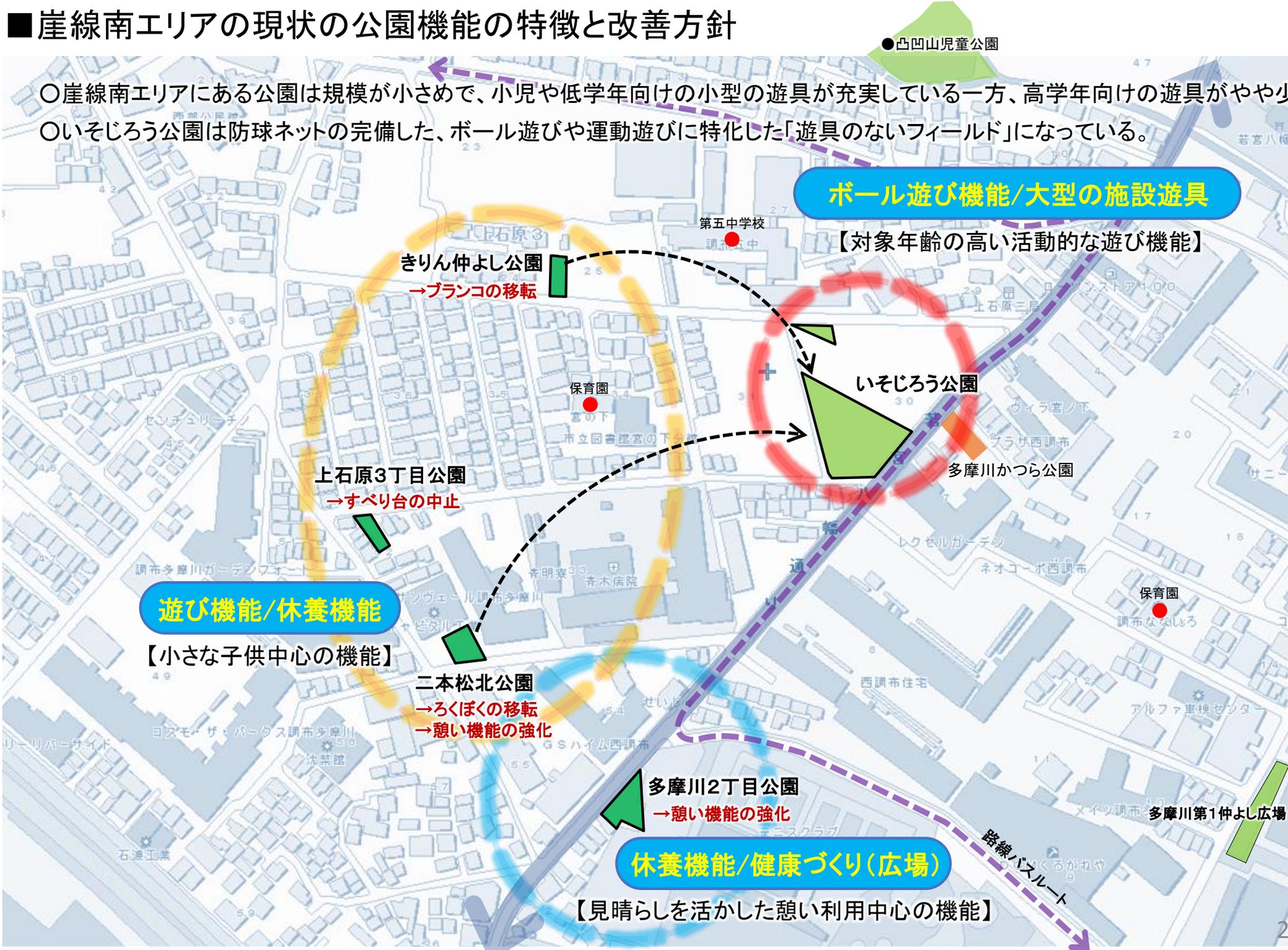
～子どもが主役の公園と、大人のための憩いの場～

③重複する機能を避け、エリア内でのバリエーションを高める

～同じような機能や施設は集約し、足りない機能を追加する～

崖線南エリアの現状の公園機能の特徴と改善方針

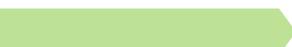
○崖線南エリアにある公園は規模が小さめで、小児や低学年向けの小型の遊具が充実している一方、高学年向けの遊具がやや少ない。
○いそじろう公園は防球ネットの完備した、ボール遊びや運動遊びに特化した「遊具のないフィールド」になっている。



■今後のスケジュール(予定)

○凸凹山児童公園・若宮自然広場周辺エリアの機能再編整備については、次のような作業工程を予定しております。

○これは現時点での最短工程を表したもので、確定したものではありません。

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
機能再編整備プラン作成 に向けた市民意見交換					
プランの取りまとめ					
崖線沿いエリアの整備 ・凸凹山児童公園 ・布田崖線緑地 ・若宮自然広場		設計作業			
			工事		
崖線南エリアの整備 ・既存公園			設計作業		
				工事	